



2020-2021 年度 藤沢ロータリークラブ週報



2020-2021 年度
RI テーマ
第 2780 地区 ロータリーは機会の扉を開く
ガバナー 久保田 英男
第 3 グループガバナー補佐 市川 洋

■創 立 / 昭和 29 年 6 月 3 日
■第 67 代 会長 / 野口 捷代 幹事 / 小河 静雄
■事務所 / 藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204 TEL : 0466-25-4000 FAX : 0466-26-9292 E-mail : info@fujisawa-rotary.com
■例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30
■例会場 / 湘南クリスタルホテル TEL : 0466-28-2111

NO. 11 第 3208 例会 2020 年 9 月 23 日 天候 曇り

ロータリーソング「手に手つないで」
「四つのテスト」 棕梨 兼彰 会員

《ゲスト・ビジターの紹介》

ゲストスピーカー：濱口 和久 様
(一般財団法人防災教育推進協会
常務理事・事務局長) (紹介者：小河 幹事)
ゲスト：佐藤 正弘 様
(元日本大学監事・一般社団法人防災教育推進協会
専務理事) (紹介者：小河 幹事)
金山 雄樹 様 (R
財団グローバル奨学生候補生 / 慶応義塾大学 4
年)
(紹介者：野口 会長)

《会長報告》

・本日は、佐藤様、防災のお話お願い致します。
江の島の入り口で生業をしておりますので、311
の震災の際、河の水が全くなくなって戻ってきた
と聞きました。私は、東京におりましたので、電
話がつながらず、職場や家族の無事がわからず、

()内は計算に用いた会員数
+〔 〕は Zoom 出席者

出席報告

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メイクアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
9月9日	44(43)名	27名	16名	62. 79%	0名	27名	62. 79%
9月23日	44(43)名	26名	17名	60. 05%			

恐怖体験をしました。本日は、とても為になる

お話をお待ちしておりました。

また本日は、財団奨学生に応募なさる金山さんが
面談にお越しいただき、急遽例会に出席していただ
きました。履歴書や論文を読ませていただき、
お話を伺いました。大変素晴らしい方で、ぜひ
藤沢ロータリークラブから推薦し、送り出した
と思います。

《幹事報告》

- ・本日例会後、9月23日の例会後、臨時理事役員
会を開催いたします。理事役員は、ご出席をお願い
致します。
- ・次週9月30日は、休会となっております。例会
はございません。
- ・会長よりご紹介のありました金山さん、藤沢生ま
れの藤沢育ち、北部のエリートです。大変素晴ら
しい論文を読ませていただきました。ぜひ、皆さ
んで応援したいと思います。よろしくお願い致し
ます。

《委員会報告》

・大小原 地区財団補助金・VTT 委員

R財団セミナーと補助金セミナーが、9月19日にクラブから大貫会員が参加下さいました。

この補助金セミナー、申請資格は2名の受講者が、必要です。次回、もうお1人のご出席をお願い致します。次回、1月よろしくをお願い致します。

昨年度、椋梨会員が中心となって、カンボジアに雨天体育施設建設を地区補助金で申請していたのですが、コロナの緊急支援という事で、見送りとなってしまいました。皆様から頂きましたご寄付をぜひクラブの支援する事業に補助金として使っていけるよう、興味を持っていただき、ご協力をお願い致します。

《お祝い》

会員誕生日 10月1日 泉 信子 会員



結婚記念日 9月17日 吉川 英紀 会員



撮影したものが不鮮明なため、後日、再度撮らせていただきました。

《スマイル報告》

今井 重信 会員

本日は申し訳ありませんが、超早退します。

泉 信子 会員

佐藤先生、ようこそいらっしゃいました。

誕生日のお祝い有りがとうございました。

川上 彰久 会員

濱口様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

佐藤さん、ようこそ！

吉川 英紀 会員

本日は結婚記念日のお祝いを頂き、ありがとうございました。9月17日で、31周年になりました。

これからも妻を大事にして、面倒を見てもらいたいと思います。

小河 静雄 会員

濱口様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

佐藤さんもよろしくお願ひします。

《小話 3分間スピーチ》



藤沢に来る前は、大阪で暮らしていました。3年でしたが、思い出が強く残っています。中でも2018年6月の大阪北西地震です。北新地の会社から千里中央の家まで歩いて帰らなくてはなりませんでした。

本日、防災の卓話がありますが、台風についてお話します。台風は、アメリカではハリケーンとかサイクロンといわれますが、違いをご存じでしょうか。発生した地域によって呼ばれ方が違います。アメリカの台風には名前がついています。女性の名前が多かったのですが、1979年より男性の名前も付くようになりました。あらかじめ決まっておられて、太平洋側、大西洋側に分けて、アルファベット順で順番も決まっています。しかしアルファベット26文字両方使い切ってしまう

たらどうするか。その後は、ギリシャ文字 α 、 β ・・・
となっていくそうです。

日本近海の台風にも名前がついていますが、今来ている
12号の名前をごぞんじでしょうか。ドルフィンと
いいです。香港がつけました。アジア諸国10か国が
加盟する台風委員会が組織されていて、事前に各国10
個、140個が名前を挙げていて、順番に選ばれるそう
です。次に台風13号が発生した場合、日本の番でク
ジラになるそうです。星座をイメージして、クジラな
のだそうです。台風委員会が台風に名前を付けるのは、
アジア各国の文化を互いに理解しあうことで連携を
強化する、親しみやすい名前を付けることによって、
防災意識を高めてもらうという二つの理由からだそ
うです。多雨風13号が発生したら、クジラという名
前を私のことを思い出してください。

《卓話》

「地域防災力は自助から」

一般財団法人防災教育推進協会

常務理事・事務局長

濱口 和久 様

(紹介者：小河 静雄 幹事)



寺田寅彦が残した有名な警句に「天災（災害）は忘
れたころにやってくる」があります。しかし、近年は
「天災は忘れる前にやってくる」のほうが、現在の日
本のおかれた状態を正確に表現していると思います。
令和の時代は「災害の日常化」の状態です。

防災と減災という言葉はよく使いますが、知災、備
災という言葉は馴染みがない人が多いと思います。知
災とは「災害を知る・調べる」という意味です。備災
は「災害に備える」という意味です。是非、防災、減
災と一緒に知災、備災という言葉も知っておいて下さ

い。



人間は誰もが、イメージできない災害やリスクには
対応できません。なぜなら、自分は大丈夫と思っている
からです。この心理状態を災害心理学では「正常性
バイアスの罠」と呼んでいます。災害・事故を自分の
こととしてリアルにイメージするように心掛けまし
ょう。

災害時への取組みとして、自助、近助、共助、公助
がありますが、今日の演題にもある自助について説明
します。

皆さんは、寝るときに枕元に何を置いていますか。ス
リッパ、メガネ、ライト、笛を枕元に置いておくこと
をお勧めします。その理由は以下の通りです。寝てる
ときに大きな地震が起ると、停電し部屋が真っ暗に
なります。床には地震によってガラスの破片などが散
乱している可能性もあります。そのときに素足で行動
すれば足をケガする可能性があります。スリッパが
あればケガを防ぐことができます。コンタクトを使用
している人も、暗い中ではコンタクトを装着できな
いと思います。メガネであればすぐにはめることが
できます。ライトは懐中電灯でなくても、スマホのラ
イト機能でも構いません。とにかく明かりを得る小
物を置いておきましょう。最後に笛です。笛は建物の
下敷きになったときなどに、自分の居場所（生存して
いること）を知らせるときに役立ちます。100円ショ
ップなどで売っている笛で構いません。首から掛け
て寝ていれば、さらに安心でしょう。

阪神・淡路大震災では、死亡した人の8割が建物の
倒壊や家具の転倒による圧死、窒息死でした。自宅の
耐震化に加えて、最低限、寝室だけでも背の高いタ
ンスなどの家具の転倒対策はやっておきましょう。薄
型の液晶テレビなども、固定しておかないと飛んでき

ケガをする恐れがあります。



オフィスに置いてあるコピー機は非常に危険です。コピー機は「ギロチン」とも呼ばれています。地震発生時、コピー機は重量が約 100 キロあっても、動き出すと止まらず、破壊力があります。オフィス内を前後左右に走り回り、椅子と机の間に人が挟まる形で激突すると致命傷になる場合もあります。絶対に動かないように普段から固定しておきましょう。

人間は生活するのに 1 人 1 日 3 リットルの水が必要です。体に必要な水分として 1.5 リットル、手洗い・洗面等に必要の水として 1.5 リットルです。今までは家族人数分 3 日間分を備蓄しておきましょうと呼びかけていました。しかし、首都直下地震の想定被害を考えれば 1 週間分の備蓄をしておいたほうが安心でしょう。ペットボトルでなく、最近はウォーターサーバーを備蓄の水として使用するところもあります。

また、備蓄食料は、ずっとしまい込んでおくのではなく、時々、消費して、減った分を補充するようなサイクルを作ります。これをローリングストック法と呼びます。カセットコンロや、ラジオ、ライフジャケットなども備えておきましょう。家族が足を伸ばして休めるテントなども備えておくと便利です。

車の燃料は常に半分になったら給油をするようにしましょう。車は、アイドリングしながら携帯電話の充電ができます。カーナビ(地デジワンセグ)で情報収集も可能です。緊急時の移動手段としても。

次に通電火災について説明します。

通電火災とは、大規模な地震などに伴う停電が復旧し、通電が再開される際に発生する火災のことです(住宅の浸水による漏電の場合も通電火災は起きる場合はある)。通電火災を防ぐ方法は、単純に「避難する前にブレーカーを落とす」だけです。しかし、実

践するとなると話は別で、停電による暗闇と、いつまた余震がくるかもしれないという恐怖の中、冷静にブレーカーを落としてから避難するのは非常に困難です。そこで、人に代わってブレーカーを落としてくれる「感震ブレーカー」というものがあります。感震ブレーカーは工事を伴うものからホームセンターで購入して個人で取り付けることができるものまでありますので、検討してみてください。

ハザードマップについても説明をしておきたいと思います。

ハザードマップとは、自然災害による地域の被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲および被害程度、避難経路、避難場所などの情報を既存の地図上に示したものです。

一方で、行政区単位で作成されているため、自分が住んでいる地域のハザードマップだけでは災害の全体像が分からない場合がある。凡例は全国的に統一されていない。あくまでもシミュレーションによるもので、予測を超える災害が発生する可能性がある。低い堤防や古い橋など相対的に氾濫しやすい場所がよく分からないなどの課題があります。

ハザードマップは、あくまでも避難のタイミングの目安として活用するべきであり、個人の住宅などの財産を守ってはくれません。津波や洪水の浸水地域や土砂災害警戒地域に住宅などがある場合には、危険と隣り合わせで暮らしているという認識を普段から持つておくべきです。

最後に 1 人ひとりの防災意識の定着と備えが、地域防災力を高めることにも繋がります。これで、私の本日の卓話を終わりたいと思います。ありがとうございました。





佐藤様、ようこそ！



金山さん、ようこそ！

本日のお料理



↓ 濱口 和久様のプロフィール

濱口 和久 略歴

【生年月日】

昭和43(1968)年、熊本県菊池市生まれ。

【学 歴】

防衛大学校材料物性工学科卒業(37期)。

日本大学大学院総合社会情報研究科修了(国際情報修士)。

【職 歴】

防衛庁陸上自衛隊、元首相秘書、日本政策研究センター研究員、栃木市首席政策監(防災・危機管理担当兼務)、テイケイ株式会社常務取締役、日本防災士機構理事などを歴任する。

現在は、拓殖大学大学院地方政治行政研究科特任教授、同大学防災教育研究センター長、東京大学災害対策トレーニングセンター連携研究者、一般財団法人防災教育推進協会常務理事・事務局長、近江八幡市安土城復元推進協議会副会長などを務める。

【主な著書】

- 『日本版 民間防衛』(青林堂)江崎道朗、坂東忠信との共著
- 『戦国の城と59人の姫たち』(並木書房)
- 『日本の命運 歴史に学ぶ、40の危機管理』(育生社)
- 『探訪 日本の名城(下)戦国武将と出会う旅』(青林堂)
- 『探訪 日本の名城(上)戦国武将と出会う旅』(青林堂)
- 『領土問題の基本は歴史認識から 歴史の中にこそ領土問題の本質がある』(内外ニュース社)
- 『だれが日本の領土を守るのか?』(たちばな出版)
- 『悪城居(おもしろい)男はなぜ城を築くのか』(東京コラボ)